

フィッチ、日本債権回収のサービサー格付を 「ABSS2+(JPN)」及び「RSS2+(JPN)」に据え置き

フィッチ・レーティングスー東京/香港ー2010年2月2日：

フィッチ・レーティングス（フィッチ）は本日、日本債権回収株式会社（JCS）のアセット・バックト・スペシャルサービサー格付及び住宅ローン・スペシャルサービサー格付を「ABSS2+(JPN)」、「RSS2+(JPN)」にそれぞれ据え置いた。この格付は、JCSの幅広い顧客基盤などに支えられた堅調な業績、十分な業務経験を有し安定した経営陣・管理職、親会社オリコから引き継がれた業務手法及び支援体制などの強みを引き続き維持していることを反映したものである。本格付はフィッチの格付基準「日本のサービサー格付基準」（2009年9月4日付）に基づいて決定されたものである。

JCSは、1999年1月に設立された業暦の長い大手サービサーであり、これまで安定的なサービシングを提供してきた。同社は、信販業界大手の(株)オリエントコーポレーション（オリコ）の連結対象子会社であり、その取扱債権は、住宅ローンから、有担保・無担保の事業性融資債権、個人向けのカード・クレジット債権まで多岐にわたる。2009年6月までの累計取扱金額は請求債権額ベースで、4兆4,143億円、件数は275,000件に達している。

JCSは前回格付見直し時以降、金融機関が有する住宅ローンの初期延滞債権にかかる管理回収業務を積極的に受託するなど、業務分野の拡大を図っている。また、内部統制室を中心にコンプライアンスの強化も進めている。2009年12月現在の役職員数は354名であり、営業・回収の拠点として全国8ヶ所に支店を展開しているほか、2ヶ所の専門センターを擁している。

フィッチは、日本のプライマリー、スペシャル、マスターサービサーについて取扱債権の種類別に、最上位の1（「完全な承認（全般的に優秀なパフォーマンス）」）より5（「条件付き承認」）の五段階に分けて格付している。なお、各段階に対して、+（プラス）または-（マイナス）の符号を付ける場合があるが、これら+（プラス）または-（マイナス）の符号は、その段階の中でも相対的にレベルが高いことまたは低いことを示している。また、JPNの符号は日本のサービサー格付に付けられるが、当該格付が日本の法的、経済的、社会的環境と関連していることを示すものである。格付の定義など詳細については、フィッチのレポート「日本のサービサー格付基準」（2009年9月4日付）に記載されている。上記レポートはフィッチのウェブサイトで公開されている（アドレスは日本語：www.fitchratings.co.jp、英語：www.fitchratings.com）。他に適用されている格付基準「ストラクチャード・ファイナンス・サービサーの包括格付基準」（2009年9月30日付）は、フィッチのウェブサイトwww.fitchratings.co.jpにて閲覧可能である。

JCSに関する格付レポートの改訂版（日本語・英語）は近日中にフィッチのウェブサイトに掲載される予定である。

（本稿は原文「Fitch Affirms Special Servicer Ratings on Japan's JCS At 'ABSS2+(JPN)'/ 'RSS2+(JPN)」（2010年2月2日）をもとに作成されています。）

照会先：上野 光宏（東京）電話：03-3288-2605、榊原 みどり 電話：03-3288-2670、工藤 仁章 電話：03-3288-2630

メディア照会先：尾崎 千夏（東京）03-3288-2679

さらなる情報については、弊社ウェブサイト www.fitchratings.com / www.fitchratings.co.jp（日本語）より入手可能です。

フィッチの全信用格付は、所定の制約および免責の対象となっています。弊社ウェブサイトから当該制約および免責事項をご覧ください (www.fitchratings.co.jp : 「格付の定義」 > 「格付の概要」 > 「信用格付を理解する：利用と制約」)。さらに、格付の定義および利用規約は弊社のウェブサイト www.fitchratings.com / www.fitchratings.co.jp (日本語) に掲載されています。公表された格付、格付基準、格付手法も同サイトに常時掲載されています。フィッチの行動規範、守秘義務、利益相反、関連会社間のファイアウォール、コンプライアンスおよびその他の方針・手続き等も www.fitchratings.com 上の「Code of Conduct」でご覧いただけます。